

「一步、前へ!」

小さな実践の積み重ねが人々を幸せに導いてゆく。自らの体験と実践から二宮金次郎がつかんだ教えは江戸末期、600を超える村々を復興に導いていた。

二宮金次郎七代目・中桐万里子さんが貞子おばあさんから学んだ二宮金次郎の生き方と教え...



前芝小学校の二宮金次郎像
日本の小学校で初めての「金次郎像」。大正13年(1924)建立。薪ではなく魚籠(びく)を背負っている。

講師プロフィール

昭和49年(1974)東京生まれ。現在は京都市在住。幼い頃より同居していた祖母貞子(五代目)から二宮金次郎の話を聞いて育つ。慶應義塾大学卒業、京都大学大学院にすすみ、教育学の博士号を取得。学校など教育機関の教職員や子供を育む家族のコンサル活動をおこなう「臨床教育学」が専門。2007年より、子育て支援機関「親子をつなぐ学びのスペースリプレイト」を主宰し、代表をつとめている。



全国で企業研修や講演活動や学校での特別授業など実施。著書には「二宮金次郎の幸福論」などがある。

令和8年

3月26日(木)

【開場】午後2時30分

【開演】午後3時

豊橋市民文化会館ホール

豊橋市向山大池町20-1 TEL.0532-61-5111

※会場は駐車場が大変限られております。なるべく公共交通機関のご利用、乗り合わせ等でのご来場をお願い致します。

入場料 1,000円(自由席)

入場券等先 愛知報徳会 (午前10時~午後7時)
古橋 TEL 090-1784-0802

主催 愛知報徳会

後援

豊橋市、豊橋市教育委員会、公益財団法人豊橋文化振興財団、中日新聞、東愛知新聞、東日新聞、[テイエス]、やしの実FIM



いまわたしたちに大切なこと。
二宮金次郎の生き方に学ぶ
テイマ

中桐万里子 二宮金次郎七代目 講演会